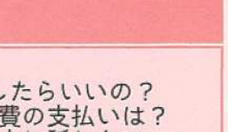
たとえば・・・こんなご相談があります			
住まい	どこに住む？誰と住む？ どんな住まいがあるの？	お金の管理	いくら残したらいいの？ 税金や生活費の支払いは？ 信頼できる人に託したい。
身の回りと生活の支援	自立に向けてこれから できることは？ 困ったときはどうする？	支援制度 相続など	利用できる制度は？ 残された人が困らないように しておきたい。
お仕事と収入	一般就労と福祉的就労？ 働けなくなったら？	医療	通院はどうする？ 体調不良や病気になったら？
支える人自身	親自身が高齢や病気などで今の支援を続けられない。 今後のことを家族とどう話したらいい？		

まずはあなたのお話を聞かせてください。

相談員が一緒に情報を整理していきます。一度にすべてを解決できるわけではありませんが、漠然とした不安をお話しいただくだけでも、気持ちの整理ができて安心される方は多いです。
取り組みたいことが明確になったら、必要に応じてつなぐ支援をおこないます。

大分県内の「親なきあと」相談室

大分県社会福祉事業団
ホームページはこちらから



相談受付：月～金曜日の9：00～17：00（祝日、年末年始除く）
お住まいの地域に相談室がない場合は、お近くの相談室をご利用いただけます。



事業所	住所	連絡先
サポートネットすまいる	宇佐市大字四日市2482-1	0978-32-1154
けいせんプラザ	速見郡日出町大字藤原4617	0977-72-1721
ふれあいサロンのぞみ	由布市狭間町大字挟間614-1	097-547-8162
ハートフルサポートinなおみ	佐伯市大字堅田3909-1	0972-28-7333
地域生活支援センターはぎの	日田市大字淡窓1-53-5	0973-24-2451
ここのえ"夢"ステーション	玖珠郡九重町大字町田554-1	0973-78-8882

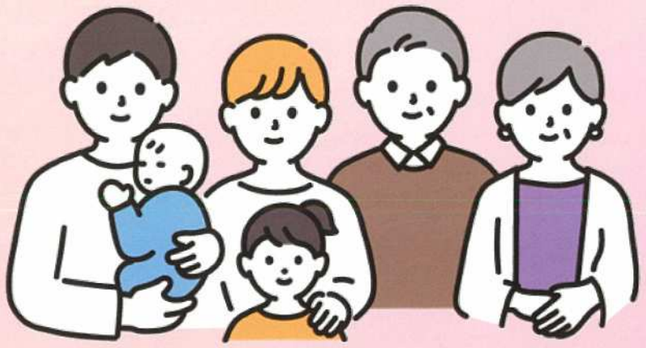
お問い合わせ
〒879-1502　大分県速見郡日出町大字藤原4617
大分県社会福祉事業団　事業強化推進室

電話：0977-76-7171
（担当）矢野（事業推進コーディネーター）
後藤（親なきあと担当者）

社会福祉法人　大分県社会福祉事業団
〒870-0907　大分県大分市大津町２丁目1-41　大分県総合社会福祉会館３F　（電話）097-552-1316

「親なきあと」相談室

将来への不安を、安心に変える第一歩



「私たちがいなくなったあと、この子はどうなるの？」
そんな不安を一緒に考え、準備しませんか？

「親なきあと」相談室ってどんなところ？

病気や障がいのある方など、
大切な人の未来に不安がある
ご家族の「親なきあと」を一緒
に考えるための相談窓口です。

どんなことでも

将来の生活のこと、お金のこと、漠然とした不安な気持ちなど。１回だけでも、何度でも相談可能です。

相談は何度でも無料

匿名でのご相談も可能です。
事前のご予約があるとスムーズにご案内が可能です。

ご希望に応じて必要な相談窓口や、専門家へ「つなぐ」役割を持っています。

『親なきあと』、『「親なきあと」相談室』は、渡部伸氏（渡部行政書士・社労士事務所代表、「親なきあと」相談室主宰）の登録商標です。

社会福祉法人
大分県社会福祉事業団
Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

R8.3　V2.0

「親なきあと」相談室はなぜ必要なの？

病気や障がいなどにより、日常的に支援を受けながら生活している方がいます。将来も安心して暮らしていくためには、支えるご家族等が元気なうちから、将来の不安や困りごとに備えておくことが大切です。しかし、「どこに相談すればよいのかわからない」「いつか相談しよう」と先延ばしになってしまうことも少なくありません。この相談室は、「親あるあいだ」に前向きに準備を始める最初の一歩をお手伝いする場所です。

制度が複雑
悩みが複合的
相談先が分からない



「親なきあと」相談室

住まい　生活　健康
お金　相続

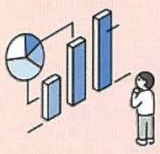
設置主体は社会福祉法人（大分県の場合）なので、公益性が高く守秘義務があり安心。

必要な窓口へつなぐ

全国の現状

（出典）
日本財団『障害者の「親なきあと」に関する意識・実態調査』(2026)

- **約85％の家族が「親なきあと」に不安**
  特に重度知的障害のある方の家族では約9割にのぼり、多くの家庭が将来に強い不安を抱えています。
- **約4割がまだ準備に着手できていない**
  準備は主に資金面が中心で、住まいや生活、制度活用などの具体的な備えは進みにくい状況です。
- **準備が進まない背景には「情報不足」と「見通しの立てにくさ」**
  必要な情報や制度が分かりにくいことが課題となっています。
- **特に重度の方の家族ほど、生活全般への不安が高い（約90％）**
  中でも「安心して暮らせる住まい」の確保へのニーズが最も高くなっています。



- **将来を支える人や相談先が未定の家庭も多い**
  きょうだいや福祉関係者を想定する一方で、約3割が未定であり、体制づくりはこれからの課題です。
- **求められているのは「経済支援」と「専門的な相談支援」**
  給付制度に加え、法律や生活設計まで含めた総合的な相談体制の充実が求められています。

もっと詳しく

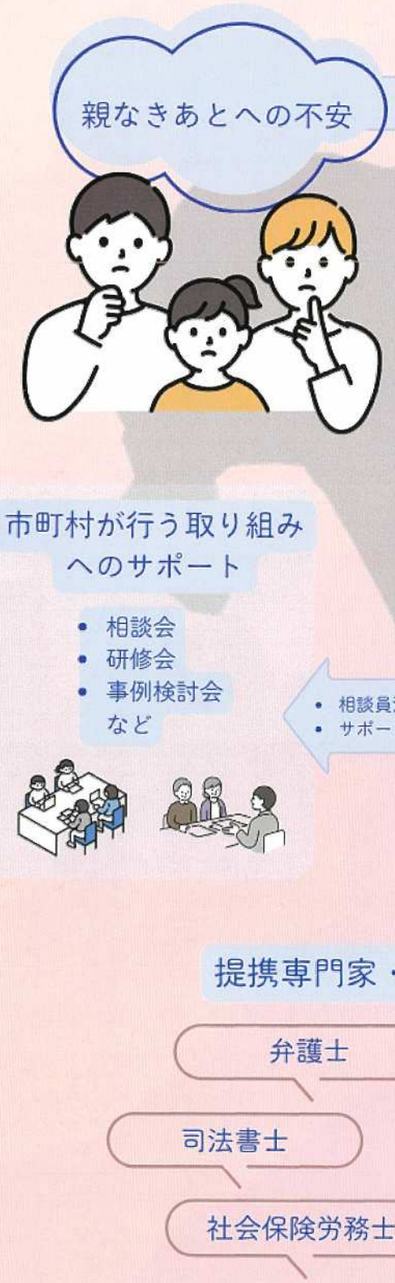
日本財団『障害者の「親なきあと」に関する意識・実態調査』(2026)

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

おおいたモデルの相談室

大分県(おおいたけん)では、社会福祉法人(大分県社会福祉事業団)が実施主体となる「親なきあと」相談室を大分県内6か所に開設し、法人独自の養成研修を受けた「親なきあと」相談員を配置しています。

また、身近な場所から必要な方へつながれるように、行政や社会福祉協議会などの相談窓口の担当者向けの養成研修や、出張相談会を実施するなどの相談体制をつくっています。



専門家等への直接相談をご希望の場合には、参考となる専門家の情報をご案内できます。相談や契約は、専門家等との間で直接行っていただく形になります。費用がかかる場合には、相談の際に専門家等から説明がありますので、ご確認のうえご利用ください。